

高知市立愛宕中学校第3学年 社会科（公民）「私たちの平和主義」

【本時（ 4 / 4 ）の評価規準】

平成28年10月24日（月） 指導者 伊藤 美和

関心・意欲・態度	思考・判断・表現
今までの学習をふり返し、未来に向けた平和の構築に対して、意欲的に考えようとしている。	今までの学習をもとに、国際社会の現状を理解し、日本の安全と世界の平和をいかに実現していったらよいかについて、多面的・多角的に考察し、これからのよりよい社会や未来の平和の構築に向けて自分なりに考えたことを、自分の言葉でまとめ、表現している。

生徒の主な活動

- 前時までのふり返し
 - 班内でお互いに説明して確認する。
 - いくつかの班が発表する。
- 日本は、これからも平和であり続けるのだろうかについて、考えを発表しあう。
 - 平和の定義を確認
 - これからも平和であり続けるのだろうかについて、意見交流
- 学習課題を確認する。

【学習課題】 未来の平和を守るためにどうしていったらよいのだろう。
- それぞれの考えを発表しあう。
 - 理由や根拠をもとに自分の考えを発表する。他者の意見を聞いて、自分の考えを深める。
 - 全体で意見交流する。
- 今までの学習をふり返し、「未来の平和を守るためにどうしていったらよいか」を考え、文章にまとめる。（個人）
- 発表（全体）
- まとめ
（板書計画）

<p>〈平和の構築に向けて〉</p> <p>★日本はこれからも平和であり続けるか？</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">資料等</div> <p>※それぞれの考えを板書</p>	<p>【学習課題】 未来の平和を守るためにどうしていったらよいのだろう。</p> <p>※それぞれの考えを板書</p> <p>★アンケートより 憲法第9条に賛成か反対か？ などの結果を提示</p> <p>【まとめ】 今までの学習をふり返し、自分の考えをまとめよう。</p>
---	--

生かしたい知識・技能

- 知識：歴史的分野 第8章 現代の日本と世界
日本国憲法、自衛隊、日米安全保障条約等の歴史的背景（3年生1学期の学習）
公民的分野 第2章 人間を尊重する日本国憲法 日本国憲法の基本的な考え方、自衛隊や日米安全保障条約の役割と意義、日本の国際貢献など（3年生2学期の学習）
- 技能：資料から問題について考え、さらにかかわり合いを通して思考を深める。

言語活動充実のポイント

- 社会的事象の意味や意義、事象間の関連などを追及して深く理解し、自分の言葉で表現する学習を重視する。
- 日本の平和主義に関わる事象を多面的・多角的に考察し、これからのよりよい社会や未来の平和の構築に向けて自分なりに考えたことを、自分の言葉でまとめ、表現している。また、国民の一人として日本と世界の平和に向け主体的な関わりを考えようとしている。

言語活動充実のための教師の主な働きかけ

前時の学習内容を発表してみよう。

- 前時の学習内容を、簡潔に要約して言えるように声かけする。

班で、それぞれの意見を発表し合い、日本の平和は保たれるのかについて考えを発表してみよう。

- 理由や根拠をもとに発表させる。
- 他者の意見を聞いて、自分の考えを深めさせる。

学習課題に対する自分の意見を発表しよう。

- 意見をつなげるように声かけを行う。
- 生徒の考えを板書する。

今までの学習をもとに、自分の考えを文章にまとめてみよう。

- 単元の最初におこなったアンケートを見て、考えさせる。
- 今までの授業の中で、残してきたストックからヒントをつかむよう、声かけを行う。

実践を振り返って

学習開始時

・日本の平和主義については、表面的には知っているが、内容理解については浅い。自衛隊や安保関連法、憲法改正問題などについてもほとんど理解しておらず、関心も低い。

学習のまとめより

・平和を守るためにどうしていけばよいか。（中略）考えれば考えるほど難しかったです。やはり人が相手の違いを認め合うことが平和への第一歩だと思います。世界には宗教や肌の色など相手の小さな違いを認めることのできない人がいます。ですが、そうした人々は多くありません。世界中のほとんどの人々が平和を望んでいます。だから、私たち一人一人が平和を守るために声をあげるべきなのです。そうした小さな違いを認めることのできない人に、平和の大切さを訴えるべきなのです。人間は何度も失敗をしています。何度も戦争を繰り返しています。それは、戦争の苦しさを知らない人々によって繰り返されているのかもしれない。だから、そうした人々は人の心の痛みに気づいてほしいです。まず、私たちができる第一歩は、相手のことを考え、認め合うことだと思います。

指導の効果

・憲法学習は、人権学習である。平和の問題を他人事ではなく自分事として捉え、考える将来の主権者意識を育てたいという思いで、この単元の授業に臨んだ。自衛隊や安保法の問題は非常に難しく、考えを十分に深めるまではいかなかったが、生徒たちが将来的にこの問題に対して、自分の考えをもち判断していくためのスタートとしての学習になったのではないかなと思う。